

ねこの室内飼育のススメ

屋外には
危険がいっぱい
だニャン

室内飼育の

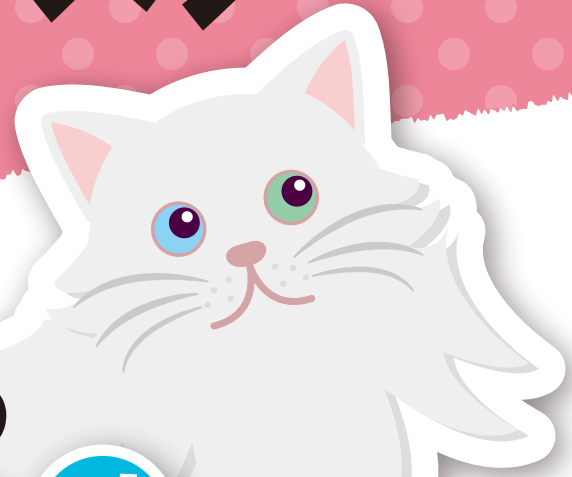


- 交通事故にあわない
- 感染症にかかる危険が少ない
- ご近所のトラブルが少なくなる
- 予期せぬ繁殖を防ぐことができる
- 虐待などの被害にあわない

室内飼育の



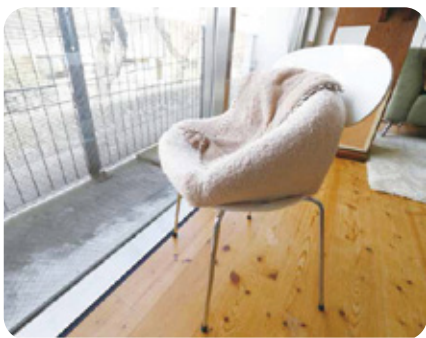
室内でも退屈しないように、
ねこの習性・本能を満たす環境を整え、
積極的にコミュニケーションをとることを
心がけてあげましょう！



猫に快適な室内環境

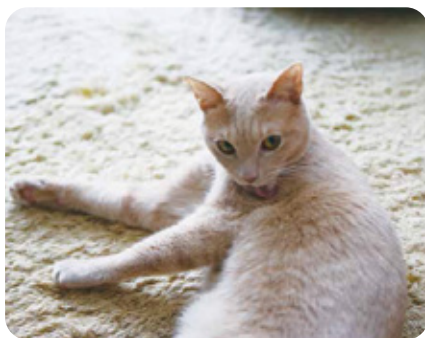
室内の安全対策

- 脱走しないように、窓や扉の戸締まりを徹底しましょう。
- 口にすると危険なものを片づけましょう。(電気コード、観葉植物など)



外を眺める場所

窓の外を見るときという刺激が
与えられ、「退屈」を感じに
くくなります。



くつろげる場所

柔らかな布の上、暖かな場所
を好みます。



隠れ場所

猫は本来臆病な動物です。
驚いたときに猫が逃げ込める
スペースを用意しましょう。



猫にとって快適なトイレ環境

- トイレの数「猫の頭数+1」
- 大きめのトイレを選ぶ
- 好きな砂の種類を使う
- 清潔を保つ

トイレ

猫は非常にきれい好きのため、
トイレには特に気をつかいま
しょう。



上下運動ができる場所 入り組んだ動き回れる空間

上下運動や動き回れる空間があると、猫は自分でエネルギー
を発散するため、問題行動の予防になります。



爪とぎ

猫は爪とぎの習性があります。
家具や柱などで爪を研がな
いように、専用のものを用
意しましょう。



ケージ

子猫のうちから習慣づけて
上手に使うとよいでしょう。
災害時や入院時にも役に立
ちます。

飼い主との コミュニケーション

室内飼育されている猫の場合は他の社会や動物との接点がない
ので、その分飼い主が毎日コミュニケーションを図る必要があ
ります。話しかけたり、なでたり、おもちゃを使って遊んだりす
る時間を作りましょう。